



## 2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月3日

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所  
 コード番号 6469 URL <https://www.hsk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 紀雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 大村 亮

TEL 046-250-3951

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	5,086		174		164		217	
2019年2月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	30.06	
2019年2月期第2四半期		

(注) 当社は、2019年2月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、2020年2月期第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2019年2月期第2四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2020年2月期第2四半期	15,582		6,904		44.3	
2019年2月期	13,981		6,872		49.2	

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 6,904百万円 2019年2月期 6,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		22.00	22.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,524	4.1	165	80.7	153	82.5	291	50.5	40.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	7,407,800 株	2019年2月期	7,407,800 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	165,381 株	2019年2月期	165,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	7,242,419 株	2019年2月期2Q	7,242,503 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、2019年6月1日付で連結子会社でありました株式会社ミヤギを吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、2020年2月期第2四半期より連結財務諸表非作成会社となりました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2019年6月1日付で、連結子会社でありました株式会社ミヤギを吸収合併いたしました。

これにより、当社は2020年2月期第2四半期より、連結財務諸表非作成会社となったため、前年同四半期の損益数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間（2019年3月1日～2019年8月31日）におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調が続いておりますが、米中間の貿易摩擦問題の長期化による中国経済の減速懸念や英国のEU離脱等に関する不確実性、日韓問題、慢性的な労働力不足など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当第2四半期累計期間における業績は、売上高は5,086百万円、利益につきましては、新規アイテムの立上げ費用が想定以上に増加したことなどにより営業損失は174百万円、経常損失は164百万円、特別利益として合併に伴う抱合せ株式消滅差益が330百万円が発生したことなどにより、四半期純利益は217百万円となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

#### ①放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、環境・エネルギー関連の遠心圧縮機関連部品や、航空機エンジン部品の圧縮機・燃焼器部品の売上高が増加したことにより、放電加工・表面処理全体の売上は2,661百万円となりました。しかし、利益面では新規アイテムの立上げ費用が想定以上に増加したこと及び、新規事業に関する先行投資の結果、営業損失は94百万円となりました。

#### ②金型

金型は、住宅関連のアルミ押出用金型が、オリンピック需要等の一段落により低調に推移したこと、さらに自動車排気ガス浄化用のセラミックスハニカム押出用金型が米中貿易摩擦に端を発する中国市場の鈍化等の影響により低調に推移した結果、金型全体の売上高は1,907百万円となりました。営業利益につきましては395百万円となりました。

#### ③機械装置等

機械装置等は、機械関連のプレス金型の受注が低調に推移したことにより、機械装置等全体の売上高は516百万円となりました。その結果、営業損失0百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ41百万円増加し、5,279百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少336百万円、電子記録債権の増加122百万円、仕掛品の増加203百万円によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ1,559百万円増加し、10,303百万円となりました。その主な要因は、土地の増加1,234百万円、建設仮勘定の増加307百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ764百万円増加し、4,435百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加887百万円、未払法人税等の減少232百万円によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ805百万円増加し、4,242百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加778百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ31百万円増加し、6,904百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加58百万円、その他有価証券評価差額金の減少29百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前会計年度末に比べ92百万円減少し、693百万円となりました。なお、合併に伴う現金及び現金同等物の増加額172百万円が含まれておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、265百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益166百万円、減価償却費414百万円、売上債権の減少362百万円、抱合せ株式消滅差益330百万円、未払消費税等の減少額134百万円、法人税等の支払額238百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,770百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,762百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1,412百万円となりました。これは主に長期借入金の増加額(純額)817百万円、短期借入金の増加額(純額)819百万円、配当金の支払額158百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、2019年7月2日に公表いたしました予想に変更ありません。

なお、上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	672,969	723,693
受取手形及び売掛金	2,735,648	2,398,803
電子記録債権	658,980	781,578
商品及び製品	3,948	9,274
仕掛品	636,386	840,368
原材料及び貯蔵品	439,999	430,167
その他	89,626	95,487
貸倒引当金	△33	△31
流動資産合計	5,237,525	5,279,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,471,565	2,440,498
機械装置及び運搬具(純額)	1,893,016	1,875,875
土地	2,703,319	3,937,498
リース資産(純額)	142,274	177,386
建設仮勘定	45,591	353,130
その他(純額)	111,648	176,457
有形固定資産合計	7,367,416	8,960,846
無形固定資産		
ソフトウェア	65,400	74,778
リース資産	236,932	219,397
その他	8,142	9,282
無形固定資産合計	310,475	303,458
投資その他の資産		
投資有価証券	384,775	232,625
繰延税金資産	582,108	692,342
その他	112,866	127,715
貸倒引当金	△13,500	△13,500
投資その他の資産合計	1,066,250	1,039,184
固定資産合計	8,744,142	10,303,488
資産合計	13,981,667	15,582,831

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,161,838	1,164,275
短期借入金	1,272,995	2,160,655
リース債務	116,254	131,463
未払法人税等	255,817	23,126
賞与引当金	239,112	278,563
その他	625,210	677,420
流動負債合計	3,671,228	4,435,505
固定負債		
長期借入金	1,987,510	2,766,132
長期末払金	54,340	47,220
リース債務	291,744	295,143
退職給付引当金	1,036,673	1,070,913
デリバティブ債務	26,821	22,525
資産除去債務	40,525	40,767
固定負債合計	3,437,614	4,242,701
負債合計	7,108,842	8,678,207
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	889,190	889,190
資本剰余金	778,642	778,642
利益剰余金	5,290,276	5,348,631
自己株式	△111,025	△111,025
株主資本合計	6,847,082	6,905,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,361	14,822
繰延ヘッジ損益	△18,619	△15,637
評価・換算差額等合計	25,742	△814
純資産合計	6,872,825	6,904,623
負債純資産合計	13,981,667	15,582,831



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	5,086,082
売上原価	4,181,882
売上総利益	904,199
販売費及び一般管理費	
運搬費	26,897
給料及び手当	397,943
賞与引当金繰入額	68,282
退職給付費用	19,853
旅費及び交通費	49,876
減価償却費	71,140
研究開発費	41,506
その他	403,155
販売費及び一般管理費合計	1,078,656
営業損失(△)	△174,456
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	30,948
その他	12,256
営業外収益合計	43,219
営業外費用	
支払利息	20,300
シンジケートローン手数料	8,800
その他	3,708
営業外費用合計	32,808
経常損失(△)	△164,045
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	330,880
特別利益合計	330,880
特別損失	
固定資産除却損	721
特別損失合計	721
税引前四半期純利益	166,113
法人税等合計	△51,575
法人税、住民税及び事業税	△51,575
四半期純利益	217,688

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	166,113
減価償却費	414,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△447
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,500
受取利息及び受取配当金	△30,963
支払利息	20,300
固定資産除却損	721
抱合せ株式消滅差益	△330,880
売上債権の増減額 (△は増加)	362,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△141,855
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,534
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△134,441
その他	151,459
小計	491,565
利息及び配当金の受取額	30,963
利息の支払額	△18,216
法人税等の支払額	△238,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,707
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△30,000
定期預金の払戻による収入	60,000
有形固定資産の取得による支出	△1,762,929
無形固定資産の取得による支出	△19,850
投資有価証券の取得による支出	△4,604
貸付金の回収による収入	1,873
長期前払費用の取得による支出	△19,524
その他の支出	△469
その他の収入	5,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,770,109
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	4,149,000
短期借入金の返済による支出	△3,330,000
長期借入れによる収入	1,140,000
長期借入金の返済による支出	△322,717
配当金の支払額	△158,734
リース債務の返済による支出	△65,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,412,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,036
現金及び現金同等物の期首残高	612,969
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	172,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	693,693

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は2019年3月15日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月1日付で完全子会社である株式会社ミヤギを吸収合併いたしました。

##### ①取引の概要

被合併企業の名称および当事業の内容

被合併企業の名称 株式会社ミヤギ

事業の内容 金属プレス用金型、システム金型の製造販売

企業結合日

2019年6月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社ミヤギを消滅会社とする吸収合併

その他取引の概要に関する事項

本合併は一体的な事業運営体制を構築することによる企業価値の更なる向上、経営判断の迅速化をめざすものであります。

##### ②実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,661,566	1,907,895	516,620	5,086,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,275	1,918	34,855	45,049
計	2,669,841	1,909,813	551,476	5,131,131
セグメント利益又は損失(△)	△94,166	395,264	△209	300,888

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	300,888
全社費用(注)	475,345
四半期損益計算書の営業損失	△174,456

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

## 3. 補足情報等

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期累計期間(2019年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期累計期間 (2019年3月1日～8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,664,009	—
金型	1,880,799	—
機械装置等	699,916	—
合計	5,244,726	—

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注状況

当第2四半期累計期間(2019年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期累計期間 (2019年3月1日～8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,772,482	—
金型	1,912,961	—
機械装置等	537,831	—
合計	5,223,275	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期累計期間(2019年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期累計期間 (2019年3月1日～8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,661,566	—
金型	1,907,895	—
機械装置等	516,620	—
合計	5,086,082	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。